

産業経済局

- 一般会計要求総額
57,848百万円
(対前年度 +0.4%)
- 特別会計要求総額
111,507百万円
(対前年度 ▲12.3%)

《平成30年度 予算要求の経営方針》

生産年齢人口の減少や人工知能(AI)の劇的な進歩、電子商取引市場の拡大など、社会経済状況は大きく変化している。特に、生産年齢人口の減少は、本市の企業誘致や地元企業の経済活動に大きな影響を及ぼすことが懸念されている。

この問題に真正面から取り組むため、新たな働き手の確保と労働生産性の向上を産業政策上の最重要課題と位置づけ、以下の4つのポイントに力点を置いた戦略を打ち出す。

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】

1 人を呼び込む・人を活かす

新規 : 新規事業 **拡充** : 拡充事業

- 新規** ○ 「第二新卒」採用促進プロジェクト
- 新規** ○ 「ニート × IT企業」架け橋事業
- 新規** ○ 「九州の大学生向け」市内就職魅力発信事業
- 新規** ○ シニア・ハローワーク戸畑PR事業
- 新規** ○ 国際高度人材就職バックアップ事業

2 仕事をつくる

- 新規** ○ 北九州食品ブランド香港プロモーション事業
- 新規** ○ IT人材供給のための立地企業プロモーション事業
- 新規** ○ 放置竹林解消モデル事業
- 新規** ○ 漁場環境変動対策事業
- 新規** ○ 曽根干潟 アサリ増殖実証試験事業
- 拡充** ○ メイカーズ創出プロジェクト

3 にぎわいを生む

- 新規** ○ 地域でつくるコト消費促進事業
- 新規** ○ まちの観光資源磨き上げ事業
- 拡充** ○ 若戸大橋ライトアップによる北九州都市圏魅力向上事業
- 拡充** ○ 国際航空便やクルーズ船をターゲットとした観光プロモーション事業
- 拡充** ○ MICE誘致推進強化事業
- 拡充** ○ 関門海峡都市・観光まちびらき連携事業

4 働く場を元気にする

- 新規** ○ 生産性改革推進事業
- 新規** ○ 中小企業成長加速化モデル事業
- 拡充** ○ ロボット・IoT・AI等を活用した生産性向上支援事業
- 拡充** ○ 事業承継・M&A促進化事業

【一般会計 款項目別】

- ◆6款 労働費 (予算要求額 359百万円) ◆8款 産業経済費 (予算要求額 56,044百万円)
- ◆7款 農林水産業費 (予算要求額 1,444百万円) ◆14款 災害復旧費 (予算要求額 1百万円)

【主な特別会計】

- ◆卸売市場特別会計 (予算要求額 1,484百万円)
- ◆渡船特別会計 (予算要求額 349百万円)
- ◆競輪、競艇特別会計 (予算要求額 109,086百万円)

※なお、競輪、競艇特別会計については、地方公営企業法の規定を適用する条例案を平成29年12月議会に提出しています。

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。